

学 校 教 育 目 標	かしこく（進んで学ぶ子） やさしく（思いやりのある子） たくましく（元気でねばり強い子）
目 指 す 学 校 像	すべての子どもたちの居場所となる地域とともにある学校～教職員、保護者、地域が連携・協力して子どもたちを支える学校～
重 点 目 標	1 「学びの自律化」に向けたタブレット型端末の活用による授業改善 2 「すべての子どもの居場所となる学校」としての教育支援・相談体制の充実 3 「開かれた教育課程」を明確に示した学校づくりの推進 4 「花と安全・安心」学校づくりを目指す施設・設備の活用と整備 5 「学校の組織力」と「教職員の指導力」の向上

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、
方策の評価指標」を設定。

達	A	ほぼ達成	（8割以上）
成	B	概ね達成	（6割以上）
度	C	変化の兆し	（4割以上）
	D	不十分	（4割未満）

学 校 自 己 評 価								学校運営協議会による評価	
年 度 目 標				年 度 評 価				実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	現状 ○全国学力・学習状況調査では、学力に関する調査の正答率が、すべての教科で、全国平均・市平均を下回っている。 ○学習に関する意欲が見られない児童もあり、また、家庭教育の協力が十分ではない家庭もある。 課題 ○基礎的な知識・技能を十分に定着させる必要がある。 ○スクールダッシュボードを活用し、個別最適な指導や支援を工夫する必要がある。	「真の学力」の育成のための主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善	①「学びの指標」に基づく、学習者主体の授業の実践 ②教科の専科制を生かした質の高い授業の実践 ③児童の主体性を育む学習課題設定の工夫	①「学びの指標」における「主体的な学び」に関する項目の数値が学校平均3.30を上回ったか。 ②③学校評価アンケートの教職員の関連項目の肯定的回答割合が90%を上回ったか。					
		エビデンスに基づく基礎・基本の知識・技能の定着を目指す指導方法の工夫改善	①「学力向上カウンセリング訪問」を生かした分析的手法に基づく授業改善 ②ICTを活用した一人1研究の充実 ③家庭学習の啓発 ④指導と評価の一体化を重視したルーブリックの工夫・活用	①「学びの指標」における「ICT活用」に関する項目の数値が学校平均3.14を上回ったか。 ②④学校評価アンケートの教職員の関連項目の肯定的関連割合が90%を上回ったか。 ③学校だより等を活用して家庭への啓発を学期ごとに行ったか。					
2	現状 ○「いじめ見逃し0」を目指して、いじめの積極的認知を進める。令和6年度いじめの認知件数23件、年度を超えた見守り9件であった。 ○さいたま市学習状況調査生活習慣に関する調査の「学校に行くのが楽しい」「困りごとや不安があるとき、だれかに相談しようと思う」の肯定的回答割合が市平均を下回っている。 課題 ○Solaルールの活用に関する周知が必要である。 ○Sola ルーム運営にかかわる人材を確保する必要がある。	「自己肯定感」「自己指導能力」を育む生徒指導・教育相談体制の充実	①児童アンケート、面談記録、生徒指導上の対応記録等の適切な保存・活用 ②生徒指導、教育相談部会の定期開催 ③必要に応じた校内支援委員会の実施	①ICTやファイル等を活用し、必要な情報を適切に管理・活用することができたか。 ②③定期的開催、必要に応じた適切な開催を実践することができたか。					
		Sola ルーム活用に関する啓発と環境整備	①必要とする児童・保護者への Sola ルームに関する情報提供 ②Sola ルームの環境整備 ③Sola ルーム運営に関するルールの明確化と対応人材の確保	①学校だより等を通じて Sola ルームとその活用に関する情報提供を行うことができたか。 ②予算を活用し環境整備を行うことができたか。 ③必要な人材確保に関する取組を進めることができたか。					
3	現状 ○学校運営協議会に地区自治会会長の方々の協力を得られることができてきた。 ○学校・地域・保護者の協働的な活動が十分ではない。 ○現状に即した PTA 活動の在り方を模索している。 課題 ○学校運営協議会に児童の参画が必要である。 ○学校行事等における保護者の組織的協力が必要である。 ○学校・地域・保護者・児童による協働活動が必要である。	児童の自律に向けた取組と学校運営協議会に基づく協働体制の充実	①地域代表である委員長を中心に学校の現状に応じた熟議を実施 ②熟議に基づく協働的な活動を具体的に実践 ③主に挨拶やいじめに関する課題について児童が参画して協議会を実施	①②熟議を通して協働的な活動を実践することができたか。 ③学校運営協議会に児童が参画することができたか。					
		意図的・計画的な情報発信とPTA本部役員との連携の強化	①学校だよりや学校 HP を活用して取組について周知 ②SSN との連携の充実 ③実態に即した PTA 活動について協力を得られる取組の検討	①学校だよりや学校 HP を通して、学校運営協議会の活動について周知することができたか。 ②③SSN との連携を通して、実態に即した PTA 活動や保護者の協力の在り方について検討することができたか。					
4	現状 ○校舎の経年劣化が見られ、継続的に補修を必要とする箇所が複数見られる。 ○地域の避難所としての機能を十分に果たすことができない可能性が高い。 課題 ○学校配当予算を大幅に上回る抜本的な補修が必要である。 ○学校配当予算の意図的計画的な執行を適正に行う必要がある。 ○毎月の安全点検に基づく対処療法的な対応を適切に行う必要がる。	定期的な安全点検の確実な実施と迅速な対応の徹底	①定期的な安全点検の確実な実施（毎月10日） ②危険・補修必要箇所等の迅速な対応の徹底 ③必要な予算措置及び補修等の年度内執行の徹底	①学校評価アンケートの保護者の関連する項目の肯定的回答割合が97%を上回ったか。 ②③危険・補修箇所に対する迅速対応を徹底し、予算活用が年度内に完了したか。					
		教育委員会との連携と適切な情報発信に基づく危険回避	①定期点検と合わせた施設等の巡回強化 ②校庭改修工事施工に伴う危険予知と安全確保の徹底	①安全点検事項以外に関する点検作業を毎週実施し、情報共有することができたか。 ②校庭改修工事に関する情報提供を関係機関等に適切に行うことができたか。					
5	現状 ○教職経験5年以内の教員割合が約5割である。 ○教科の専門性が高い教員が十分ではない。 ○ICTを活用した授業改善に関して、学級間、学年間での共通理解が十分ではない。 課題 ○「教師が教える授業」から「学習者が主体的に学ぶ授業」への転換が必要である。 ○学校課題研究のさらなる推進が必要である。 ○外部指導者等を活用した、より専門性を生かした指導の充実を図る必要がある。	学校課題研究、研修奨励による指導力向上のための取組の充実	①発達段階に応じた ICT 活用の充実 ②一人1研究の学校課題研究の実践 ③長期休業中における研修受講	①②「学びの指標」における ICT 活用が3.14を上回ったか。 ③人事評価面談を通した研修奨励に基づき教職員が一人一つ以上研修受講したか。					
		講師や外部指導者招聘による取組の指導や専門的内容に基づく学習指導の充実	①リーディング DX 校（協力校）としての外部講師の招聘 ②企業が提供する専門性の高い教育資源の活用	①外部講師を招聘した授業研究会及び研究協議会を実践することができたか。 ②専門性の高い教育資源を活用した授業実践を行うことができたか。					